

津軽白神 ふれあい通信

津軽白神森林生態系
保全センター

平成27年3月26日発行 No.106



フクジュソウ：深浦町大間越 (3/3)

つがる市で活動展を開催しました

3月6日（金）から9日（月）つがる市のイオンモールつがる柏2Fイオンホールで、今年度2回目の活動展を開催しました。

当日は、例年のこの時期にしては珍しく好天に恵まれお客さんの出入りも多く、活動展には300名を超える皆様に来場していただきました。

来場者の皆さんは、はじめはどんなイベントかわからず、ほとんどの人がおそろおそろ覗いていましたが、展示を一通り見終わった後には「毎年（活動展を）やっているんですか」とか「（写真の場所に）一度行ってみたいと思ってました」と話していました。

土曜日曜の木工教室は大変盛況で準備した木工品の大部分を、来場者の方々にお渡しすることができました。

この取組は、当センターの取組をはじめとして白神山地の貴重な生態系の様子や、美しい風景などを広く知ってもらう為にも重要であると考えていますので、来年度以降も継続して開催していきたいと考えています。



青い森ネイチャーガイド協会学習会



3月17日（火）に青森中央市民センターにおいて、青い森ネイチャーガイド協会が主催する学習会が開催され、同協会の依頼により、当センター所長が講演を行いました。ニホンジカ監視の取組みをはじめ遺産地域の保全、自然再生、森林環境教育など、今年度の当センターの取り組みについて1時間程説明させていただきました。当センターでは、教育機関や各種団体の方々からの要請を受け、講演や森林教室のための職員を派遣しています。講演などを通じて森林、林業、遺産地域の保全等への理解が深まればと考えており、ご要望がございましたらお気軽にお問い合わせ下さい。

お世話になりました

生態系管理指導官 鈴木 修

平成25年4月に当センターに着任して、まる2年。3月31日をもちまして、定年退職となりました。

岩手県に自宅を置く単身赴任生活で、「春も夏も秋も冬も、晴れの日も雨の日も雪の日も猛吹雪の日も、欠くことなく毎週末に滝沢市に帰り、また鱒ヶ沢に戻り仕事をする」といった生活も、無事に終わることになり一安心しているところです。この間、森林教室や自然再生事業をとおして一般の皆様とふれあうことが出来て、有意義な時を過ごせたのも、皆様のセンターへのご愛顧のおかげと感謝しております。大変ありがとうございました。

新年度、新体制となる当センターのお引き立てをお願いして退職の挨拶といたします。

～職員のコラム～

皆様からの「あったか〜い」贈り物

所長 石田 和彦

今年度も当センターの活動へのご理解・ご協力、各種イベントへのご参加をいただきありがとうございました。イベントにご参加いただいた方々などからの励ましのお手紙が何よりの贈り物であり私の仕事の糧となっています。今年度も皆様からの心温まるお手紙、園児からの貼り絵、インドネシア研修生からちょっと怖い（魔除け？の）お面もいただき、おかげさまをもちまして今年度の各種行事を無事に終えることが出来そうです。新緑の白神山地までもう少し……。来年度もよろしく申し上げます。



「津軽白神ふれあい通信」配布確認のお知らせ

日頃より、津軽白神ふれあい通信をご愛読いただきましてありがとうございます。当センターではご愛読者の方々に平成27年度以降の「津軽白神ふれあい通信」の配布継続について意向を確認いたします。つきましては、平成27年度以降も継続して配布を希望される方は、当センターまでご連絡をお願いいたします。

お手数をおかけしますが、よろしく願いいたします。

〒038-2754 青森県西津軽郡鱒ヶ沢町大字米町25-2

TEL 0173-72-2931 FAX 0173-72-2932

津軽白神森林生態系保全センターホームページ

<http://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/syo/tugarusirakami/index.html>